

科学研究費助成事業（基盤研究（B））研究代表者所属研究機関変更届

平成25年9月1日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇大学〇〇学部 教授 〇〇〇〇 [印]

研究者番号	1	0	7	6	5	4	3	2
-------	---	---	---	---	---	---	---	---

このたび、下記のとおり所属研究機関を変更しましたので報告します。

記

1. 課題番号

2	5	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---	---

2. 研究課題名 〇〇の××に関する総合的研究

3. 交付決定額

	直接経費	間接経費	合計
科学研究費補助金（平成25年度）	3,300,000 円	990,000 円	4,290,000 円
学術研究助成基金助成金（期間全体）	5,000,000 円	1,500,000 円	6,500,000 円

4. 研究期間 平成25年度～平成28年度

5. 変更前の研究代表者所属研究機関・部局・職（及びその番号）

▲▲大学・▲▲学部・准教授

研究機関番号	部局番号	職番号
1 2 3 4 5	2 3 1	2 7

6. 変更後の研究代表者所属研究機関・部局・職（及びその番号）

〇〇大学・〇〇学部・教授

研究機関番号	部局番号	職番号
2 3 4 6 7	2 1 2	2 0

7. 事実発生日

平成25年9月1日

8. 本補助事業に関する確認事項

- (1) 事実発生日までに受領している補助金及び助成金の支出状況
(1 = 全額（分担金を含む。）支出済み（支出予定の金額を含む。） 2 = 未使用額あり) 2
- (2) 当該補助事業にかかる当該年度の実績報告書の提出先
(1 = 変更前の機関 2 = 変更後の機関) 2
- (3) 間接経費交付決定額変更承認申請書（様式Z-16）の提出有無
(1 = 提出有（間接経費の返還） 2 = 提出有（間接経費の追加交付） 3 = 提出無) 3

様式 Z-10 「作成上の注意」

<対応事業>

基盤研究（B）、若手研究（A）・・・・・・・・平成24年度以降採択のみ
(直接経費の配分総額が500万円以下の研究課題を除く。)

本様式は、研究代表者が科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関へ異動した場合に、電子申請システムにアクセスして直接入力を行い、作成、送信、提出すること。なお、4月の交付申請書の提出時においても転出報告手続きを行うことができる（この場合、本様式と両方提出する必要はない）。

電子申請システムにおける入力にあたっては、文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

提出にあたっては、電子申請システム上で「確認完了・送信」処理を行い、研究代表者所属機関変更届のデータを、変更後の所属研究機関を通して日本学術振興会に送信するとともに、電子申請システムにより作成した様式を印刷して押印（または署名）の上、その紙媒体を、変更後の所属研究機関を通して日本学術振興会に提出すること。

なお、紙媒体の提出にあたっては、以下について留意すること。

- ・A4判（縦長）・両面印刷すること。
- ・押印（または署名）をすること。なお、研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。
- ・右上に印字されている版数が、電子申請システム上で最後に送信した研究代表者所属機関変更届の版数と一致しているか確認すること。
- ・当該年度の交付申請書の写を一部添付すること。その他、提出時に添付すべき書類は「様式提出時 添付書類一覧（一部基金用）」を参照すること。

【注意事項】

電子申請システムの入力にあたっては、「電子申請システム研究者向け操作手引（一部基金）（交付内定時・決定後用）」（<http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/topkakenhi/download-ka.html>）を参照すること。

<所属研究機関変更等の入力>

1. 研究課題情報

「研究代表者氏名」、「研究者番号」、「課題番号」、「研究課題名」、「研究期間」、「交付決定額」については、自動表示される。

2. 変更前の所属機関情報等の確認

本欄の研究代表者の情報は、日本学術振興会に届け出済みの最新の所属機関情報等が自動表示される。

「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際に所属していた部局の名称を入力すること。（部局レベルの所属がない場合は名称欄に全角スペースを入力すること。）

「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、必ず実際の職名を入力すること。

3. 変更後の所属機関情報の確認

本様式の作成時点での情報が自動表示されるので、情報に誤りがある場合は、機関担当者等にe-Radの登録情報の修正を依頼すること。「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際に所属する部局の名称を入力すること。（部局レベルの所属がない場合は名称欄に全角スペースを入力すること。）

4. 事実発生年月日

研究代表者が研究機関を変更した日をプルダウンから選択すること。

5. 本補助事業に関する確認事項

(1) ～ (3) のそれぞれの事項について、該当する番号 (1～3) を選択すること。

6. 実績報告書の提出先が「変更前の研究機関」であって、かつ、「本年度で終了」する研究課題については、本様式を提出する必要はない。